

応援してください

同じ時代に生まれ、共に社会で安心して暮していくということは、誰もが大切にしていかなければならない事だと思います。

皆が同じように育つわけではなく、その違いを理解しあい、うまく人に接することができない人を周囲の人が包み込み、理解して欲しいと思います。

自閉症の人にみられる変わった言動を、最初から嫌な気持ちで見ないでください。優しい注意やなだめで落ち着くことが出来ると、他人の好意も分かってくるのです。また周囲の人が、その「悪い点」だけでなく、「良い点」を認めるようにしてくれることで、自閉症の人が社会で生きていく自信が出来、生活を豊かにすることになっていきます。

この社会に自閉症の人への理解者や代弁者が一人でも増え、真のインクルージョン(共に社会で暮らす)が実現されることを願っています。

文 世界自閉症啓発デー・日本実行委員会委員長
日本自閉症協会会長 石井哲夫



世界自閉症啓発デー・日本実行委員会 の公式サイト

<http://www.worldautismawarenessday.jp/>

提供している情報

- ・シンポジウム
2010年4月2日、国連大学内
- ・各地の世界自閉症啓発デーのイベント
- ・国連における決議文やメッセージ
- ・知っておいてほしい自閉症に関する情報
- ・関わりのある他のサイト 等

世界自閉症啓発デー2010・日本実行委員会

主催：厚生労働省・日本自閉症協会

共催：国立特別支援教育総合研究所・日本自閉症スペクトラム学会・全国自閉症者施設協議会・日本発達障害ネットワーク・発達障害者支援センター全国連絡協議会

毎年4月2日は国連の定めた

世界自閉症啓発デー



アラジントラ この絵は市川浩志さんの作品です。

わたしたちの育ちを
信じて！ 愛して！

4 / 2 ~ 4 / 8

発達障害啓発週間

世界自閉症啓発デーとは

平成19年12月18日の国連総会において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day)とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われます。

これに対応し、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行っていくこととなりました。

さらに、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会では毎年4月2日～8日を発達障害啓発週間として、発達障害についての啓発活動を行っていくこととしました(自閉症は発達障害者支援法の対象となっています)。

今後、一人ひとりの理解が深まり、自閉症の人々にとっても暮らしやすい社会となることを、私たちは願っています。



自閉症を知っていますか

自閉症は、「常に自分の殻に閉じこもっている状態」と考えられたり、親の育て方が冷たいことが原因ではないかと思われることがありますが、これは誤解です。

脳の機能の状態から「人との関わりがうまくできない」ことや「気持ちや感情がうまく伝えられない」「他人の言葉の意図がわからない」「こだわり」「社会の規則がなかなか理解できないことがある」などアンバランスに発達することなのです。

社会参加に必要な言動を身につける「常識は多くの人にとって自然に身につく」という過程の発達が極めて遅いのです。

その反面、「純粹」で、自分の感じたままに話したり、行動したりします。感覚や記憶が抜群な人もいます。この自閉症の人たちの立場に立って、その行動や態度や意味を理解し、愛情をもって支援してほしいと思います。

自閉症の人たちは、周囲の愛情と支援によって大きく育つことができます。

こうしてもらえると

助かります

自閉症の人たちは、会話が苦手なのです。その人の発達に応じてわかりやすく説明してあげてください。

例えば、その人が理解している言葉を知り、その言葉を使うことや、写真、絵などを添えて説明することなどです。また、自閉症の人たちの中には過敏で、人混みや大きな音、光といった刺激を苦手とする人が沢山います。

このような刺激による不快感を増幅させないように調整して安心できる環境を作ってあげてください。また、「できないから」「間違っていたから」といって叱ることは、その人の将来に悪影響を及ぼすことにもなりますので、できるだけ穏やかに根気よく接して良い関係を作るようにしてください。

